

Minami Kyushu University Syllabus

| Minami Kyushu University Syllabus | | | | | | | | | |
|-----------------------------------|---|---------|---------|---------|---------|--------|------|----------------|---|
| シラバス年度 | 2023年度 | 開講キャンパス | 開講キャンパス | 都城キャンパス | 都城キャンパス | 開設学科 | 開設学科 | 環境園芸学科 | |
| 科目名称 | 教育学概論 | | | | | 授業形態 | 授業形態 | 講義 | |
| 科目コード | 410310 | 単位数 | 2単位 | 配当学年 | 1 | 実務経験教員 | ○ | アクティブ ラーニング | ○ |
| 担当教員名 | 後藤 吉道 | | | | | | | ICT活 用 | ○ |
| 授業概要 | <p>本授業の目的は、教師に必要な「ものの見方」を広げ、深める力を養うことです【態度・志向性の育成】。授業では、「教育とは何か」「何を目標しているか」を歴史的・実践的に考察します【職業知識・技能の育成】。これらの考察を踏まえて、一人一人がもっている教育観を、グループワークなどを通してさらに深め、履修後も「ものの見方」を広げ、深める力を携えて教育について考えることができるようにします【自己管理能力・生涯学習力】。</p> | | | | | | | | |
| 関連する科目 | 教職概論 | | | | | | | | |
| 授業の方法と進め方 | <p>毎回の授業にて、アクティブラーニング型授業を展開します。授業は、「教育の本質」「学校の歴史」「教育の思想史」の三部構成とし、それぞれについて講義するとともに【知識・理解の獲得】、グループディスカッションを通して各自の教育観を多角的に考察し、深めます【汎用的技能の育成】。</p> | | | | | | | | |
| 授業計画【第1回】 | オリエンテーション：なぜ教育学を学ぶのか | | | | | | | | |
| 授業計画【第2回】 | 教育とは何か：人間とは何か、世代交代と教育 | | | | | | | | |
| 授業計画【第3回】 | 学校の歴史 | | | | | | | | |
| 授業計画【第4回】 | 海外の教育史(1)古代教育思想 | | | | | | | | |
| 授業計画【第5回】 | 海外の教育史(2)近代教育思想 | | | | | | | | |
| 授業計画【第6回】 | 海外の教育史(3)近代教育学の成立 | | | | | | | | |
| 授業計画【第7回】 | 日本の教育史 | | | | | | | | |
| 授業計画【第8回】 | 教育課程と授業の計画 | | | | | | | | |
| 授業計画【第9回】 | 教育課程と授業の実践 | | | | | | | | |
| 授業計画【第10回】 | 教育評価 | | | | | | | | |
| 授業計画【第11回】 | 学校・学級の経営 | | | | | | | | |

| | |
|---------------------|---|
| 授業計画 【第12回】 | 学び続ける教師となるために |
| 授業計画 【第13回】 | 社会教育と生涯教育 |
| 授業計画 【第14回】 | 地域社会と学校 |
| 授業計画 【第15回】 | まとめ：自分の教育観を再構築する |
| 授業の到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1 人間の本质から教育の重要性について説明できる。 2 生物の世代交代の観点から文化伝達としての教育の意義を説明できる。 3 共同体社会と近代社会の教育目的の違いを説明できる。 4 近代的教育観とそれを成立させた歴史的背景について説明できる。 5 近代教育思想の変遷について説明できる。 6 以上を踏まえて、自分の教育観を見つめ直し、新たに自分の教育観を再構想できる。 |
| 学位授与の方針 (DP)との関連 | 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5) |
| 授業時間外の学習 【予習】 | 授業中に次の授業内容を提示します。次の授業までに確認してください。(30分程度) |
| 授業時間外の学習 【復習】 | 授業後には、授業で学んだ内容をふりかえり、要点を整理してください。(30分程度) |
| 課題に対する フィードバック | 講義にて記載したプリントは、疑問点やさらに考えを深めるコメントを次の授業で取り上げ全体で共有します。 |
| 評価方法・基準 | 講義にて記載したプリント 40点 講義態度(発言・姿勢) 20点 レポート 40点 |
| テキスト | なし |
| 参考書 | 島田和幸・高宮正貴編『教職エクササイズ 教育原理』ミネルヴァ書房、2018年。 ほかに使用する資料を授業時に配付します。 |
| 備考 | 毎回講義にて記載したプリントを提出してもらいます。 |